

田辺三菱製薬株式会社



田辺三菱製薬

2016年度第2四半期 決算発表

(2016年4月1日～2016年9月30日)

2016年11月1日

取締役 常務執行役員 経理財務部長

田原 永三

決算概要

2016年度第1四半期から国際財務報告基準(IFRS)を
任意適用しています
(当社発表決算数値については億円未満切り捨て表示)

2016年度第2四半期 決算ハイライト

売上収益

2,041億円 (対前年同期比 +1.0%)

コア営業利益

479億円 (対前年同期比 △3.5%)

四半期利益(親会社帰属)

362億円 (対前年同期比 +1.6%)

トピックス

- ◆ 売上収益は前年同期比1.0%増収。国内医療用医薬品はシンポニーやワクチン等主要製品が堅調に伸び、主要製品の収益は前年同期比17.3%増
- ◆ 通期予想の親会社帰属当期利益は、前期比8%増の640億円と過去最高の見通し
- ◆ ALS治療薬(MCI-186) 米国FDA承認申請受理(8月)
- ◆ 細胞治療薬Invossa® Kolon Life Science社とライセンス契約締結(11月)
- ◆ 2型糖尿病治療用配合剤(MT-2412) 国内製造販売承認申請(8月)
- ◆ サンファーマ製品に関する販売提携(9月)
- ◆ 抗アレルギー剤「ルパタジン錠」の販売基本契約締結(10月)
- ◆ Biogen社 MT-1303開発中止を発表(10月)

2016年度第2四半期 決算概要

	2016年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	増減		※上期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	2,041	2,020	+20	+1.0	1,930	105.8
（うち海外売上）	486	508	△21	△4.3	481	
海外売上比率	23.9%	25.2%		△1.3	24.9%	
売上原価	783	731	+52	+7.2	725	108.1
売上原価率	38.4%	36.2%			37.6%	
売上総利益	1,257	1,289	△32	△2.5	1,205	104.4
コア営業利益	479	497	△17	△3.5	380	126.2
四半期利益(親会社帰属)	362	357	+5	+1.6	285	127.4

為替(\$)(期中平均)

105.39円

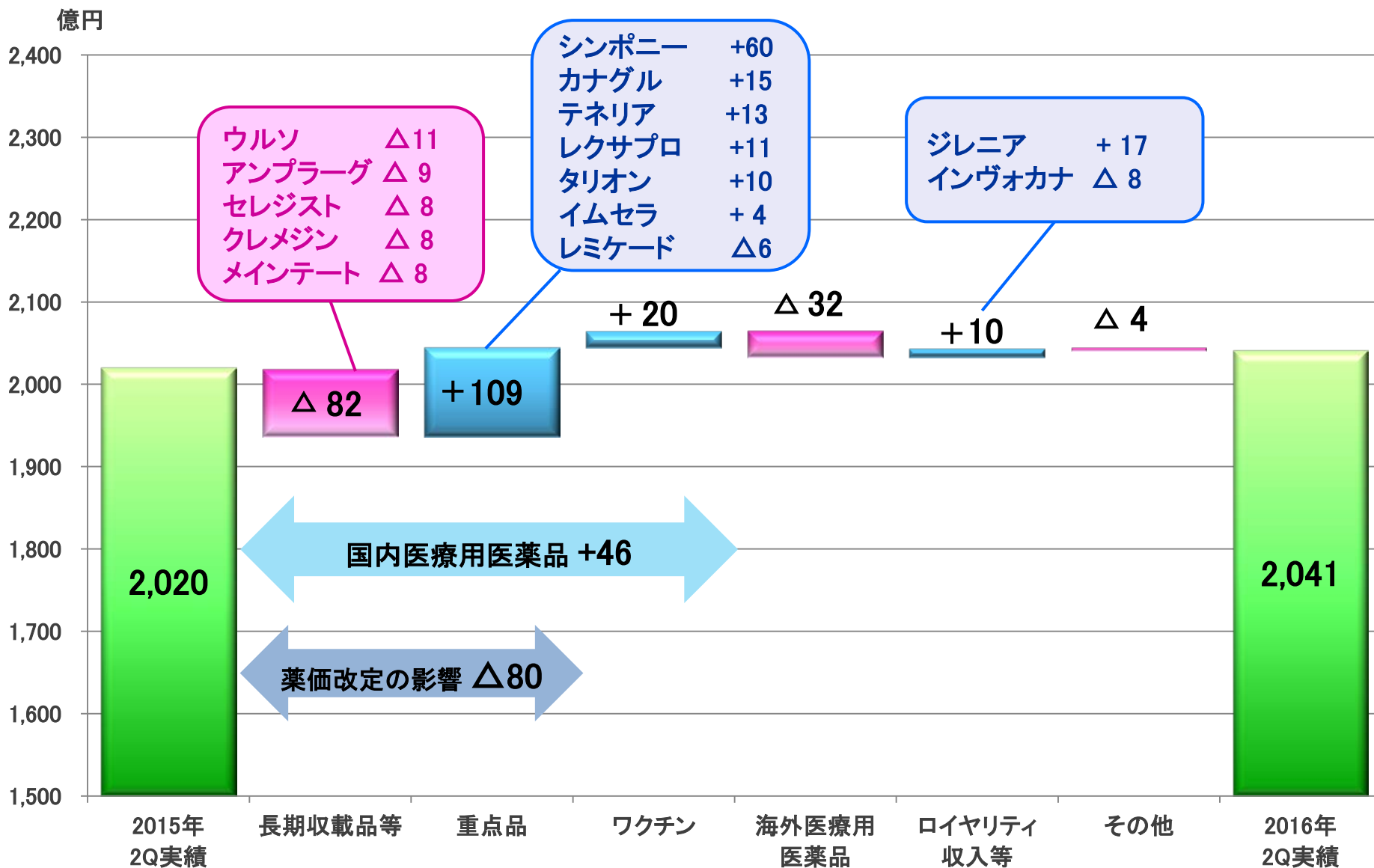
121.73円

110.00円

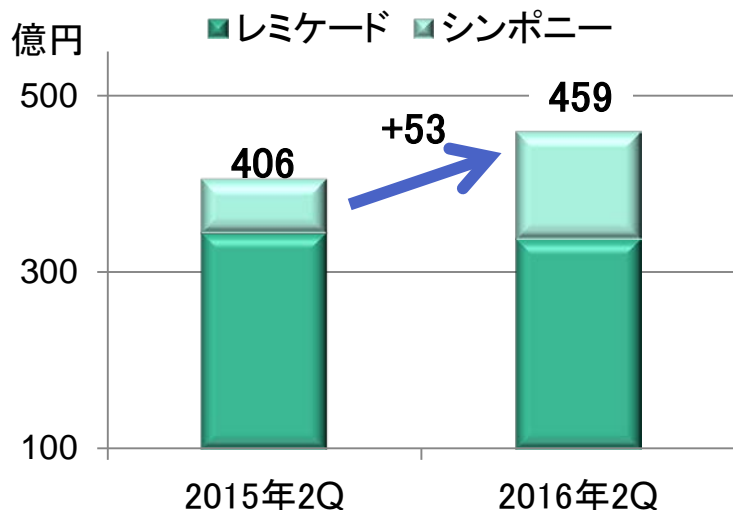
※上期予想:2015年度決算発表時(2016年5月11日)公表

当社は、2016年10月25日に、売上収益、四半期利益(親会社帰属)等について上記予想を修正して公表

売上収益の増減

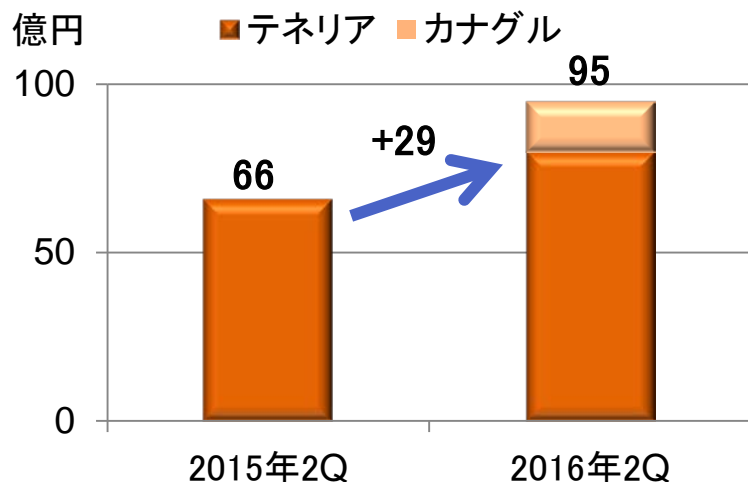


国内医療用医薬品の伸長(自己免疫疾患領域、糖尿病・腎疾患領域)



【自己免疫疾患領域】

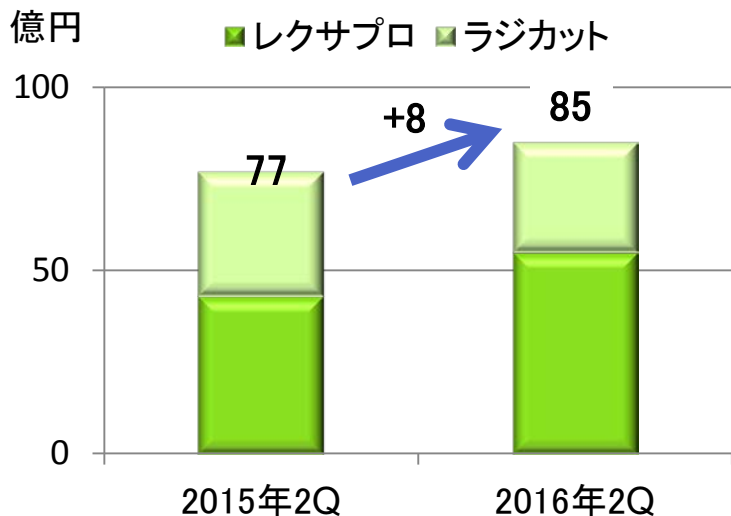
- ◆ 前年同期比 53億円増収
- ◆ レミケード+シンポニー: 2016年度上期領域シェア 39%
- ◆ シンポニー: ヤンセンファーマとの協業体制強化によるシナジー効果を発揮
- ◆ レミケード: 幅広い適応症とシンポニーとのラインナップで売上高を維持
- 静注・皮下注両剤の価値最大化により、シェア No.1を堅持する



【糖尿病・腎疾患領域】

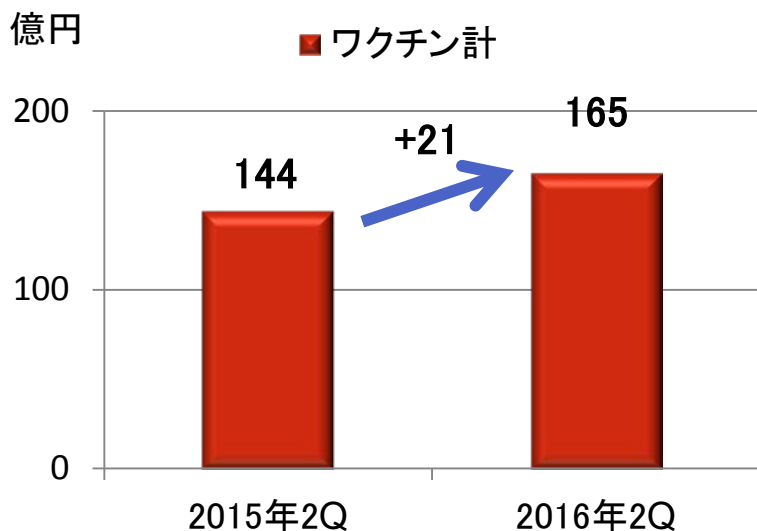
- ◆ 前年同期比 29億円増収
- ◆ テネリア: 2016年度上期DPP-4阻害薬シェア 10%
DPP-4阻害薬シェア伸長率No.1(前年同期比)
第一三共との協業の基、腎機能低下例・高齢者での位置づけが浸透
- ◆ カナグル: 2016年度上期SGLT2阻害薬シェア 13%
投薬期間制限解除を機に市場での基盤を構築
- 2017年度、MT-2412の投入、カナグルの新規エビデンス発表に向け、更なる伸長をめざす

国内医療用医薬品の伸長(中枢神経系疾患領域、ワクチン)



【中枢神経系領域】

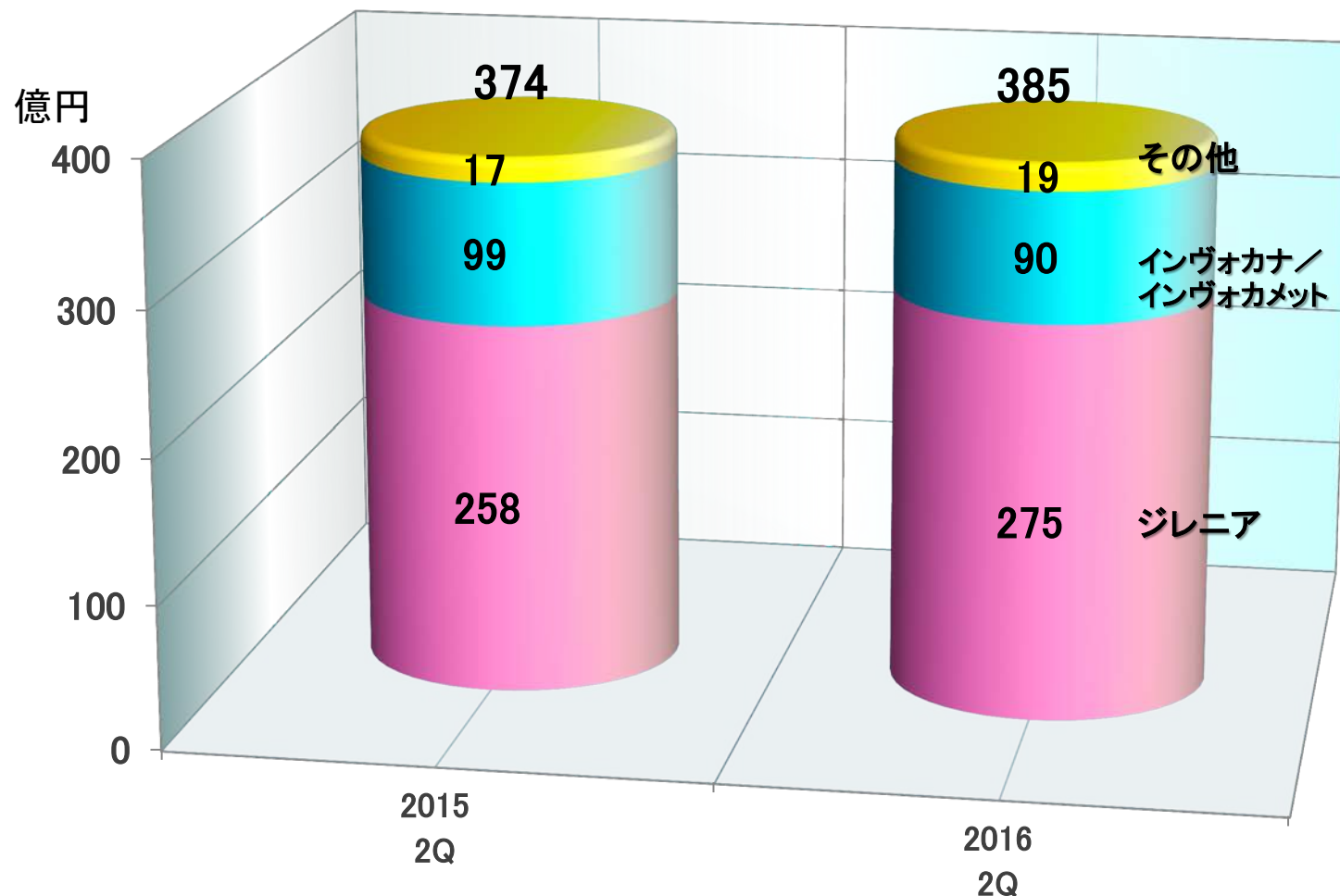
- ◆ 前年同期比 8億円増収
- ◆ レクサプロ:2016年度上期 SSRIシェア 37%
SSRIでシェアトップ、社会不安障害の効能追加により、不安を有する患者への効果が浸透
- ◆ ラジカット:ALSの適応追加により、約1,800人の患者に投与
- レクサプロの有効性の評価の向上、持田製薬・吉富薬品との連携強化により、抗うつ剤シェアNo1をめざす



【ワクチン】

- ◆ 前年同期比 21億円増収
四混ワクチンおよびミールビックの売上増加
- ◆ ワクチン:2016年上期シェア 24%
シェアトップクラス
- 阪大微生物病研究会との連携の基、引き続き安定供給を継続するとともに、新規混合ワクチンにつなげる市場基盤を構築する

ロイヤリティ収入等



<為替レート(期中平均)>
米ドル

121.73円

105.39円

売上原価・販管費・コア営業利益

	2016年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	増減		※上期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	2,041	2,020	+20	+1.0	1,930	105.8
売上原価	783	731	+52	+7.2	725	108.1
売上原価率	38.4%	36.2%			37.6%	
売上総利益	1,257	1,289	△32	△2.5	1,205	104.4
販管費	466	463	+3	+0.6	480	97.3
研究開発費	303	318	△15	△4.9	335	90.5
製品に係る無形資産償却費	7	7	△0	△0.1	7	105.3
その他損益*	△0	△2	+1	-	△3	-
コア営業利益	479	497	△17	△3.5	380	126.2
総人件費	357	397	△39	△10.1	375	95.4

※上期予想:2015年度決算発表時(2016年5月11日)公表
 当社は、2016年10月25日に、売上収益等について上記予想を修正して公表

* 費用・損失の場合に△と表示

	2016年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	増減		※上期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
コア営業利益	479	497	△17	△3.5	380	126.2
非経常項目*	△1	△4	+2	-	-	-
営業利益	478	492	△14	△3.0	380	125.8
金融収益	18	15	+3	+25.1	-	-
金融費用	2	10	△7	△72.8	-	-
四半期利益(親会社帰属)	362	357	+5	+1.6	285	127.4

* 費用・損失の場合に△と表示

※上期予想:2015年度決算発表時(2016年5月11日)公表

当社は、2016年10月25日に、営業利益、四半期利益(親会社帰属)について上記予想を修正して公表

通期業績予想

通期業績予想修正 売上収益・売上総利益・コア営業利益

	2016年度				2015年度		
	修正予想	当初予想	増減		実績	※増減	
	億円	億円	億円	%	億円	億円	%
売上収益	4,140	4,065	+75	+1.8	4,257	△117	△2.8
売上原価	1,630	1,590	+40	+2.5	1,558	+71	+4.6
売上原価率	39.4%	39.1%			36.6%		
売上総利益	2,510	2,475	+35	+1.4	2,699	△189	△7.0
販管費	979	985	△6	△0.6	963	+15	+1.6
研究開発費	660	700	△40	△5.7	646	+13	+2.1
製品に係る無形資産償却費	15	15	-	-	14	+0	+1.8
その他損益	△6	△5	△1	-	△5	△0	-
コア営業利益	850	770	+80	+10.4	1,069	△219	△20.5

※2015年度の増減は修正予想との比較

修正予想は2016年10月25日公表、当初予想は2015年度決算発表時(2016年5月11日)公表

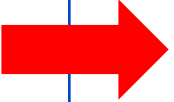
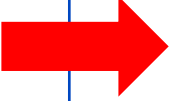


通期業績予想修正 営業利益～親会社の所有者に帰属する当期純利益

	2016年度				2015年度		
	修正予想	当初予想	増減		実績	※増減	
	億円	億円	億円	%	億円	億円	%
コア営業利益	850	770	+80	+10.4	1,069	△219	△20.5
営業利益	840	755	+85	+11.3	818	+21	+2.7
税引前利益	860	770	+90	+11.7	832	+27	+3.3
当期利益(親会社帰属)	640	570	+70	+12.3	593	+46	+7.9

※2015年度の増減は修正予想との比較

修正予想は2016年10月25日公表、当初予想は2015年度決算発表時(2016年5月11日)公表

開発パイプラインの進捗

製品名/治験コード	機序(予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請	承認
バリキサ	抗サイトメガロウイルス化学療法剤 (臓器移植におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制)	日本					
インヴォカナ (導出先: ヤンセン ファーマシューティ カルズ)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤 [徐放性製剤])	米国					
レミケード	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製 剤 (クローン病における投与間隔の 短縮)	日本					
MT-2412	DPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の合 剤 (2型糖尿病)	日本					

MCI-186(ALS治療薬)は2016年8月に米国FDA 承認申請受理.

Invossa®

- Kolon Life Science, Inc. (韓)の関連会社 TissueGene, Inc. (米)が創製した細胞治療薬。
- ヒト他家由来軟骨細胞と、TGF-β 1*遺伝子導入細胞を混合して関節腔内に注入。
- 変形性膝関節症(OA)の疼痛・機能改善に加え、軟骨破壊進展抑制を期待。

- 日本における独占的開発・販売権を取得。
- 韓国では、Kolon Life Science, Inc.が申請中、米国ではTissueGene, Inc.がPhase 3準備中。

- レミケード®、シンポニー®で培った自己免疫疾患領域を拡大。
- OA治療におけるMT-5547(抗NGF抗体)とのシナジーを期待。

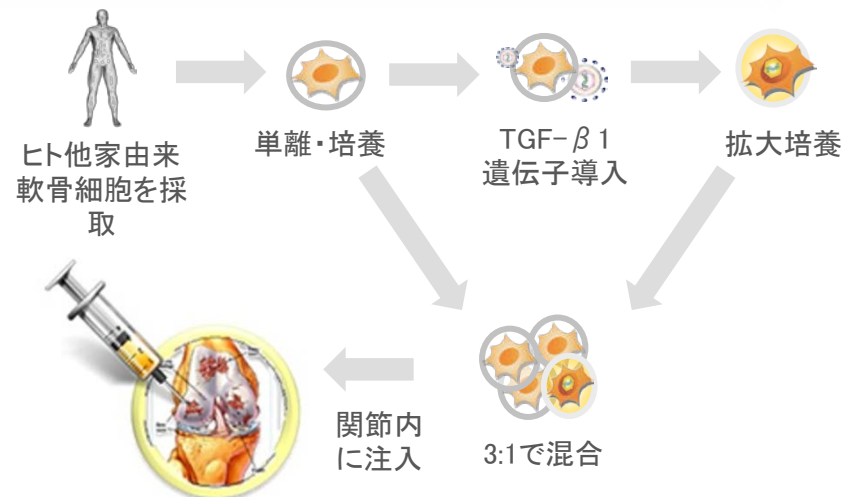
Invossa®
病態進行抑制



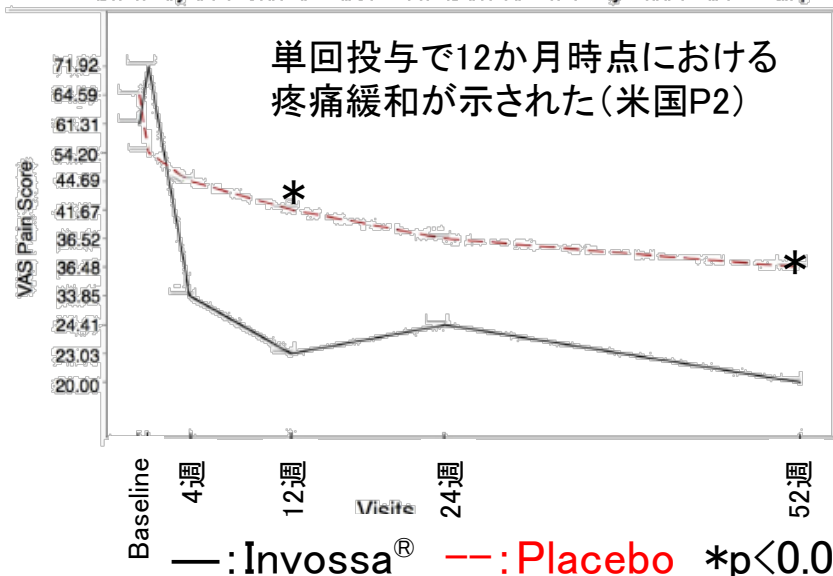
MT-5547
疼痛緩和



OAの
治療満足度向上



Summary of Mean VAS Pain Scores Over Time by Treatment Group



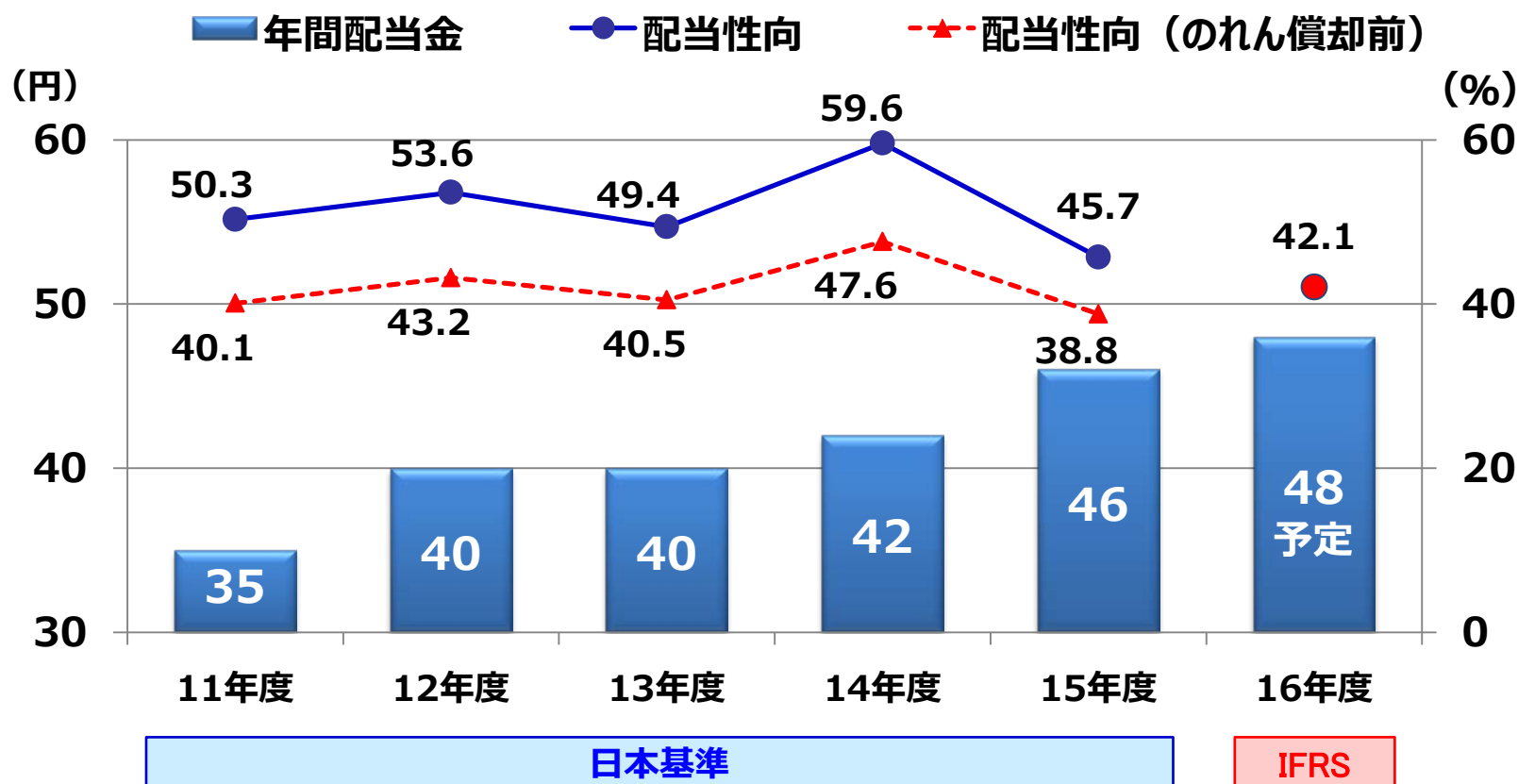
*TGF-β 1; Transforming Growth Factor-β 1、形質転換増殖因子ベータ1

株主還元



配当金推移

- 持続的成長の実現に向けた戦略的投資・研究開発投資を積極的に実施することにより企業価値の増大を図るとともに、株主還元についても安定的かつ継続的に充実させる。
- 「中期経営計画16-20」期間は、連結配当性向50%(IFRS)を目途に、中長期的な利益成長に基づいた配当を行う。



Open Up the Future

医療の未来を切り拓く

独自の価値を一番乗りでお届けする、
スピード感のある企業へ



田辺三菱製薬

補足資料



売上収益の内訳(第2四半期累計)

	2016年度	2015年度	増減		※上期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	2,041	2,020	+20	+1.0	1,930	105.8
(うち海外売上収益)	486	508	△21	△4.3	481	101.2
国内医療用医薬品	1,519	1,473	+46	+3.2	1,411	107.6
海外医療用医薬品	106	139	△32	△23.2	102	104.3
ロイヤリティ収入等	385	374	+10	+2.7	382	100.6
一般用医薬品	19	20	△1	△7.4	22	86.2
その他	9	12	△2	△20.0	10	95.3

※上期予想:2015年度決算発表時(2016年5月11日)公表

当社は、2016年10月25日に、売上収益について上記予想を修正して公表

国内医療用医薬品 重点品売上収益

	2016年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	増減		※上期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
レミケード	338	345	△6	△1.9	316	106.9
シンポニー	121	61	+60	+97.4	112	108.2
テネリア	80	66	+13	+20.8	83	96.9
タリオン	74	64	+10	+16.1	66	111.7
レクサプロ	55	43	+11	+26.3	56	98.0
イムセラ	24	19	+4	+24.9	22	111.1
カナグル	15	0	+15	-	16	89.9
重点品合計	710	601	+109	+18.2	674	105.3
テトラビック	50	36	+14	+39.1	39	127.4
ミールビック	32	25	+7	+30.2	23	142.1
水痘ワクチン	28	33	△5	△15.2	29	96.7
ジェービックV	23	18	+5	+28.2	21	109.5
インフルエンザワクチン	25	27	△2	△9.2	20	123.7
ワクチン合計	165	144	20	13.9	137	120.0
重点品・ワクチン合計	875	746	+129	+17.3	812	107.8

※上期予想:2015年度決算発表時(2016年5月11日)公表

2016年度 通期業績予想修正 主要製品売上収益

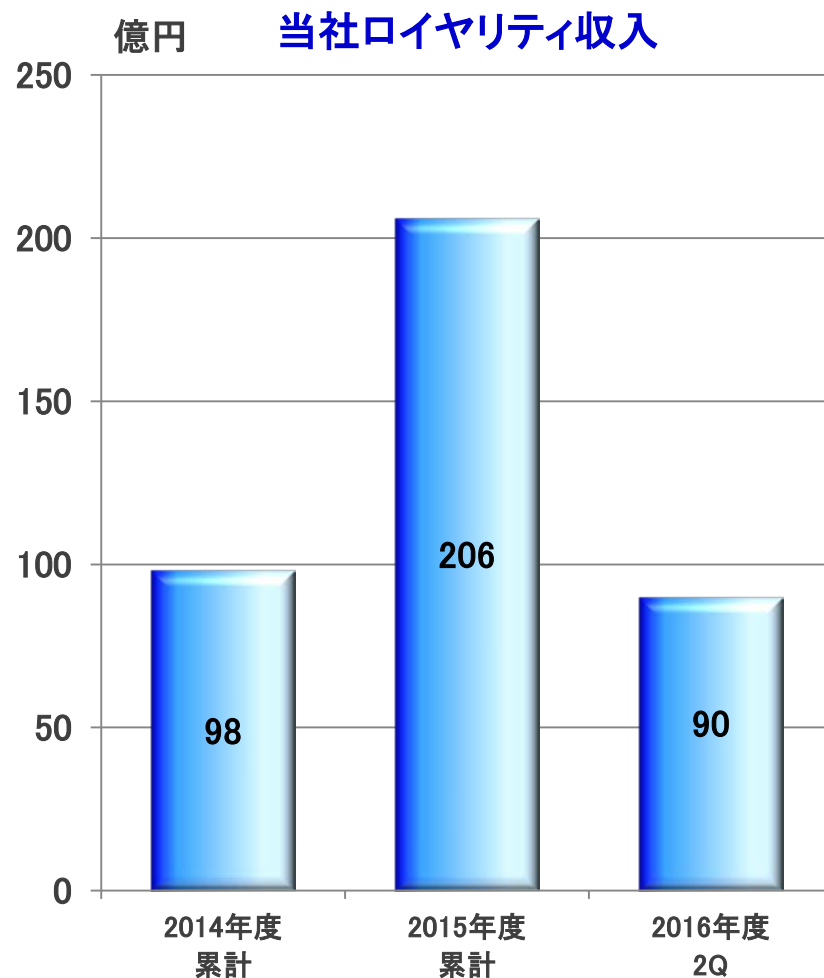
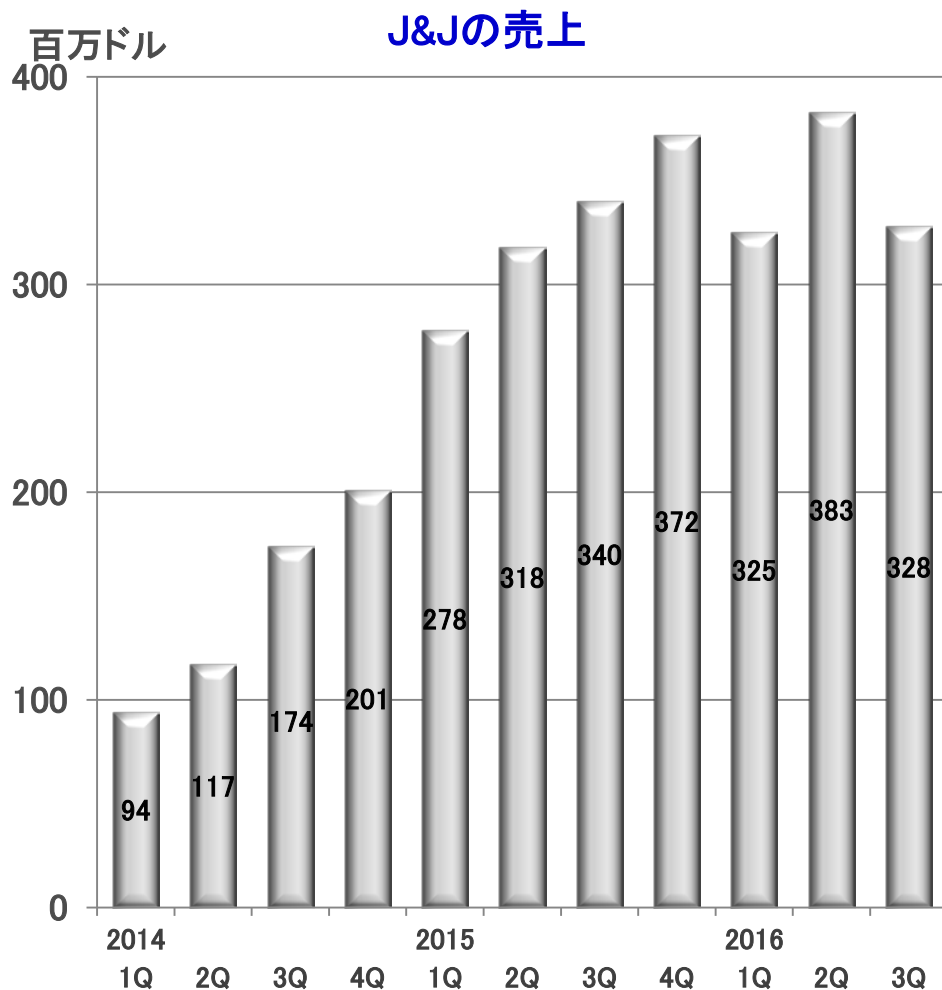
	2016年度				2015年度		
	修正予想	当初予想	増減		実績	※増減	
	億円	億円	億円	%	億	億円	%
国内医療用医薬品	3,130	3,008	122	4.1	3,080	50	1.6
重点品合計	1,491	1,416	+75	+5.3	1,275	+215	+16.9
レミケード	664	625	+38	+6.2	694	△30	△4.3
シンポニー	254	233	+21	+9.1	129	+125	+97.4
テネリア	174	174	△0	△0.3	141	+32	+23.2
タリオン	191	173	+18	+10.4	168	+22	+13.4
レクサプロ	125	126	△1	△0.8	95	+30	+31.8
イムセラ	48	46	+1	+4.3	41	+7	+17.6
カナグル	32	36	△3	△9.0	5	+27	+478.9
ワクチン	376	336	+40	+12.0	390	△14	△3.6
インフルエンザ	120	111	+8	+7.9	137	△17	△12.8
テトラビック	97	85	+11	+13.7	95	+2	+2.5
水痘ワクチン	55	55	△0	△0.6	63	△8	△13.4
ミールビック	54	40	+16	+40.4	49	+7	+9.1
ジェービック	38	36	+2	+6.1	36	+1	+5.0
田辺製薬販売	144	142	+1	+0.8	138	+6	+4.4
ロイヤリティ収入等	741	779	△37	△4.9	866	△124	△14.4
ジレニア	—	—	—	—	517	—	—
インヴォカナ	—	—	—	—	206	—	—

※2015年度の増減は修正予想との比較

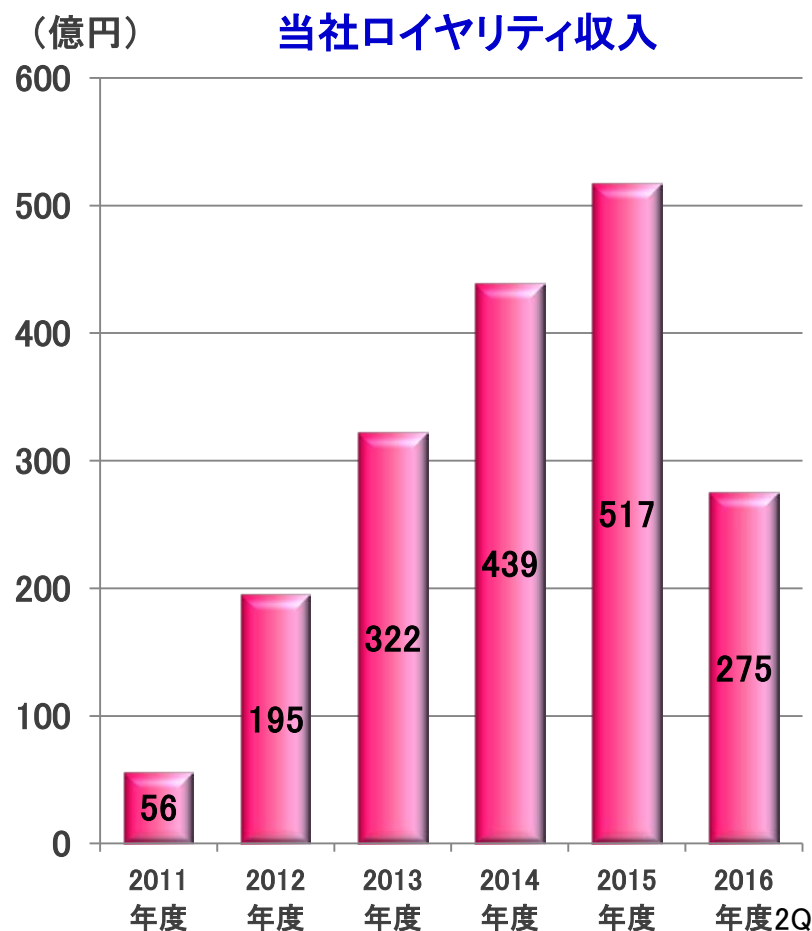
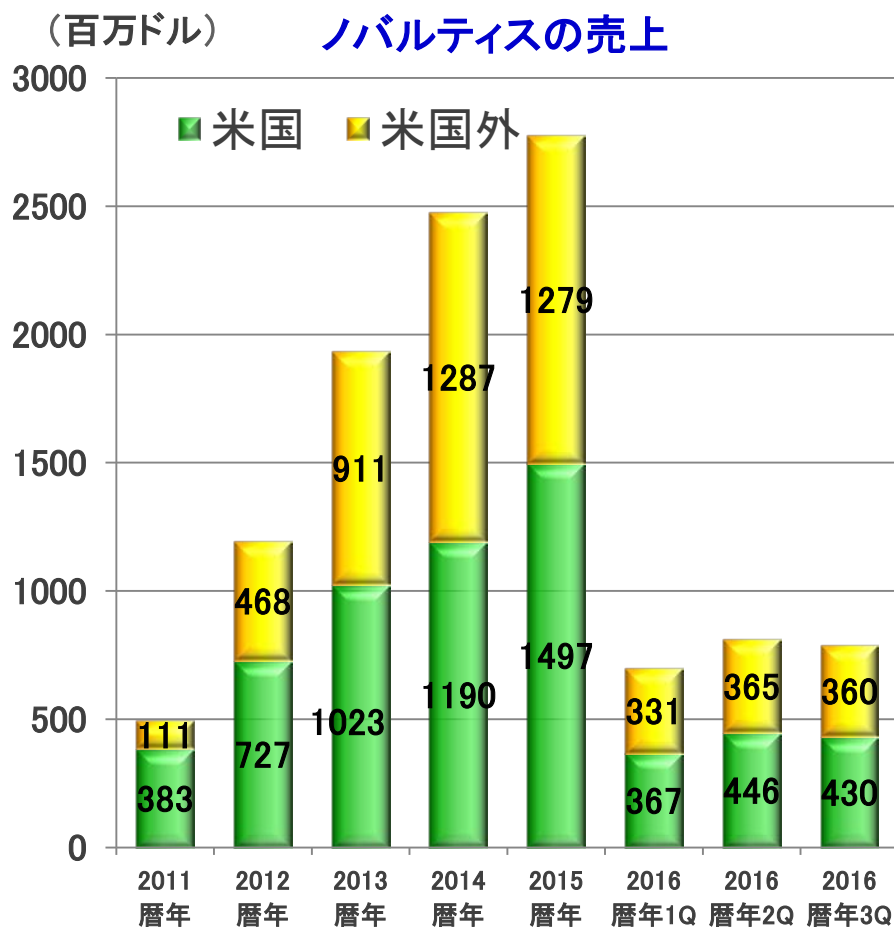
修正予想は2016年10月25日公表、当初予想は2015年度決算発表時(2016年5月11日)公表

インヴォカナ・インヴォカメット

- ◆ J&Jの2016年3Q(2016年7-9月)売上高は328百万ドル(前年同期 340百万ドル)
- ◆ 米国において、2型糖尿病市場で6.4%の市場シェアを獲得
- ◆ 当社2016年度2Q(2016年4-9月)のロイヤリティ収入は90億円



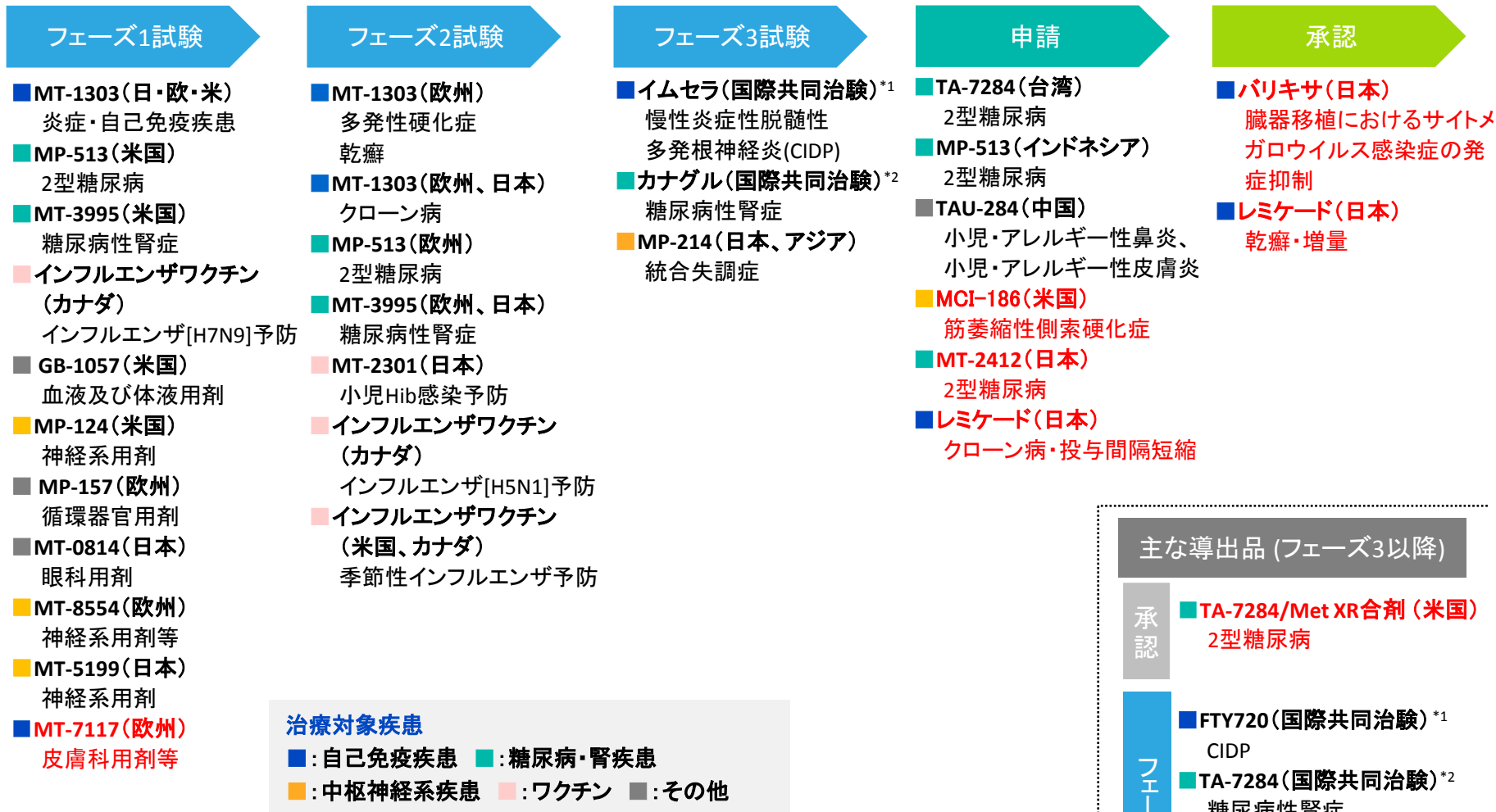
- ◆ ノバルティスの2016年3Q(2016年7-9月)売上高は790百万ドル(前年同期 696百万ドル)
- ◆ 当社2016年度2Q(2016年4-9月)のロイヤリティ収入は275億円



パイプラインの現状

赤字:2015年度決算発表(2016年5月11日)以降進捗

2016年11月1日現在



主な導出品 (フェーズ3以降)

承認

- TA-7284/Met XR合剤(米国)
2型糖尿病

フェーズ3

- FTY720(国際共同治験)*1
CIDP
- TA-7284(国際共同治験)*2
糖尿病性腎症
- MT-4580(日本)
透析患者における二次性副
甲状腺機能亢進症

*1 : 日本はノバルティスファーマと共同開発、海外はノバルティスに導出

*2 : 治験依頼者: ヤンセン リサーチ アンド デベロップメント

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。